

学校だより
No.10 2月号

深谷

令和5年1月31日
横浜市立深谷小学校

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya/>

つながる深谷っ子

副校長 宮崎 博隆

先週の寒波で、今年度初めて岩石園の池が凍りました。子どもたちが持ってきていた水筒を置いても割れないくらい厚い氷が張っていました。保護者・地域の皆様におかれましては、いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただくとともに、子どもたちを温かく見守ってくださりありがとうございます。

1月25日（水）に戸塚区小学校一斉授業研究会が開催されました。深谷小学校は生活科・総合的な学習の時間の授業発表校でした。1年1組と5年1組が授業を公開し、戸塚区の教員約70名が授業を参観し、研究協議を行いました。今回はそれぞれの学習内容をご紹介します。

《1年1組・生活科》

どきどきからわくわく だいさくせん ～年長さん 小学校へいらっしゃい！～

1年生は今年度、横浜市幼保小連携推進地区事業の研究指定を受けて、俣野保育園の年長さんと定期的な交流をしています。今回は2月14日に控える3回目の交流に向けて、自分が小学生になってできるようになったことや嬉しかったことなどを年長さんに伝える活動を考え、練習をしている場面でした。

発表のグループと年長さんに扮した聞き役のグループに分かれ、どのように伝えたら年長さんが楽しんでくれるかを熱心に話し合っていました。

《5年1組・総合的な学習の時間》

【OSJ計画】思いをつなげ！ 「とかいなか」編～深谷のよいところを広めよう～

5年生は深谷のまちや人と関わっていきながら、深谷のよさを探したり広めたりする活動を展開しています。当日は野菜づくりを深谷のよさの一つととらえ、深谷で野菜づくりをしている3名の方にグループでそれぞれインタビューして伺った内容を紹介し合う時間でした。45分間子どもたちの対話が次々とつながり、伝えたい思いのあふれた時間となりました。クラスみんなで情報を共有し、全校の深谷っ子に絵本にして深谷のまちのよさを伝える活動につなげていくようです。

「この学習を通して地域の方と協働的に関わったり、インタビューをしたりしたことで、深谷のまちに当たり前にあった『もの』への認識が子どもたちの中で少しずつ変化してきています。まちのよさを実感的に発見していくと同時に、まちの課題にも気づき、今までまちを支えてきてくださった方々のためにできることは何かを考え、『深谷を大切にしたい気持ち』が高まっているように感じます。」と担任も手ごたえをつかんでいました。

どちらの学級も深谷のまちを土俵に自分たちの身近な人につながり、思いを伝えたりつなげたりする学習でした。新しい生活様式の中で、徐々にではありますが、まちに出て人と出会い、人とふれあう活動ができるようになってきました。本校の学校教育目標「自ら学び 伝え つながる深谷っ子」がどれだけ実現できたのか、今年度の活動を振り返り、さらに充実させて次年度につなげていきたいと思えます。

